

区分		予算額					決算額	職員数
		前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計			
					(予算現額)	うち一般財源		
R8年度	予算案		565,063		565,063	71,634		13.67
	要求		661,135		661,135	11,634		
R7年度		956,485	124,569	556,039	1,637,093	218,410		13.67
R6年度		936,974	185,397	521,478	1,643,849	272,199	472,780	13.67
要求からの 主な変更点		・国の補正予算を活用し、地域畜産対策事業の一部を1月補正予算に前倒して実施することにより事業費を減額 ・また、畜産経営体の生産性や付加価値の向上に資する経営基盤の強化、構造転換に向けた取組の支援を新規に実施						

事業番号	09 04 06	細事業一覧（令和8年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	畜産振興事業			部局	農政部	課・室	園芸畜産課	

細事業 No.	細事業名		R 6 年度 当初予算	R 7 年度 当初予算	R 8 年度 当初予算
1	農業制度資金利子補給等事業		492 千円	427 千円	予算案 354 要求 354 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 8 年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	畜産特別資金利子補給事業	補助金	畜産特別資金等借入農家の負担軽減のための利子補給及び経営改善指導を実施 利子補給対象件数 8件		

細事業 No.	細事業名		R 6 年度 当初予算	R 7 年度 当初予算	R 8 年度 当初予算	
2	地域畜産対策事業		145,768 千円	78,870 千円	予算案 要求	523,596 619,668 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 8 年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	飼料増産と堆肥活用の促進	直接 委託	・耕畜連携による飼料増産体制の強化 ・優良品種の導入や草地更新による自給飼料の単収及び品質の向上 ・高品質な堆肥生産に向けて、安定生産の仕組みづくりを支援 耕畜連携による飼料生産 4 か所、草地更新等の実証ほ 2 か所			
2	畜産振興施設の整備	直接 補助金	畜産経営の効率化、収益性向上のための施設整備を支援 整備箇所数 2 か所			
3	持続可能な畜産経営推進事業	直接 委託 補助金	【新】畜産経営体が行う生産性や付加価値の向上につながる収益構造の改善に向けた取組等を支援 経営継続支援 200件			

細事業 No.	細事業名		R 6 年度 当初予算	R 7 年度 当初予算	R 8 年度 当初予算
3	畜産物流通安定対策事業		2,933 千円	3,712 千円	予算案 2,997 要求 2,997 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 8 年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	肉用子牛価格差補てん金の造成	補助金	肉用子牛の価格下落時に交付する価格差補てん金（肉用子牛生産者補給金）の財源となる積立金の造成を補助 県の積立金による造成額 2,227千円		

細事業 No.	細事業名		R 6 年度 当初予算	R 7 年度 当初予算	R 8 年度 当初予算
4	食肉流通対策事業		470 千円	598 千円	予算案 598 要求 598 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 8 年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	食肉流通推進事業	直接	松本食肉施設の閉鎖に伴う影響を緩和するための取組等を関係者と協議 検討会議 2 回開催		

細事業 No.	細事業名	R 6 年度 当初予算	R 7 年度 当初予算	R 8 年度 当初予算
5	乳用牛対策事業	6,480 千円	9,387 千円	予算案 9,103 要求 9,103 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 8 年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	牛群検定データの分析及び情報提供	直接	乳量・乳質の向上を図るため、牛群検定情報の分析加工と情報提供を実施 牛群検定頭数3,000頭	
2	バルク乳全戸検査及び牛群ドックの実施	直接	・搾乳衛生の改善等を図るため、バルク乳を用いて細菌検査及び牛ウイルス性下痢症検査を実施 ・牛群ドックとして血液生化学検査や飼料給与診断を実施 牛群ドック実施農家数50件	

細事業 No.	細事業名	R 6 年度 当初予算	R 7 年度 当初予算	R 8 年度 当初予算
6	家畜振興対策事業	29,254 千円	31,575 千円	予算案 28,415 要求 28,415 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 8 年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	種畜検査の実施及び家畜人工授精師の養成	直接	・家畜改良増殖法に基づき、優良な雄の家畜を確保するための検査を実施 ・次代を担う技術者を養成するため、講習会を開催 家畜人工授精師養成講習会 1 回	
2	農場の衛生検査	直接	県産牛肉の生産及び消費拡大のため、農場における衛生管理状況の確認及び食中毒原因菌の衛生検査を実施 信州あんしん農産物〔肉牛〕生産認定農場検査件数144件	
3	県オリジナル地鶏の生産体制の整備	直接	こだわりある地鶏の生産振興に向けて、畜産試験場で開発した「信州黄金シャモ」及び「長交鶏3号」の素ヒナを供給 県オリジナル地鶏の素ヒナ供給 23,600羽	
4	肉用牛の改良及び信州プレミアム牛肉の生産体制の強化	直接	信州プレミアム牛肉の認定率向上に向けて、遺伝的に高い能力が期待される受精卵の配布等を通じて、認定要件の一つであり、脂肪の質に影響を及ぼすオレイン酸含有率に着目した改良を推進 畜産試験場における牛受精卵の生産 100個	
5	信州こだわり豚肉の生産体制の整備	直接	信州こだわり豚肉の生産振興に向けて、こだわり豚肉生産に必要な液状精液の配布を実施 信州こだわり豚肉生産用の液状精液配布 1,800本	